国語科学習指導案

三次市立八次小学校
教諭 高淵 直哉

- 1 日時 平成24年7月4日(水) 第3校時
- 2 学年 第4学年B組 男子10名 女子11名 計21名
- 3 単元名 本は友達～おすすめの本をポスターで紹介しよう～

4 単元について

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領の国語「C 読むこと」の「カ 目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むこと。」をねらいとし、言語活動例「エ 紹介したい本を取り上げて説明すること。」具体的には、「友達に紹介したい本をポスターにまとめて紹介する」という活動を通して指導するものである。児童に、これまでの読書生活を振り返らせるとともに、新たな本と出会わせることにより、読書への興味をより高められると考える。また、友達が読みたくなるようなポスターの書き方を工夫する活動を通して、必要な情報や内容を整理し、まとめる力を育むことができる。

さらに、作成したポスターをもとに、友達と語り合う中で、自分の思いや考えを友だちに伝える喜びを味わわせたり、よさを見つけたりすることで、キャリア教育の視点「人間関係形成能力」を育成するのにふさわしい単元である。

(2) 児童観

本学級の児童は、朝の読書タイムに集中して取り組むことができる。また、宿題として出された音読については、しっかり取り組むことができる児童が多い。

生活アンケートの結果からも、「本を読むのが好き」と約7割の児童が答えており、雨の日や休憩時間等を活用して、読書に励む姿が見られる。しかし、読んでいる本の内容には偏りが見られ、マンガ形式や低学年向けの本を選んで読む児童も多い。また、「この1か月間の間に何冊ぐらいの本を読みましたか。」の問いに、「全く読んでいない」と答えた児童が約2割おり、進んで読書をする習慣が身に付いていない児童もいる。

(3) 指導観

指導に当たっては、まず、児童に相手意識や目的意識を明確にもたせ、ポスターを作って、おすすめの本を紹介することへの意欲をもたせる。そして、この学習活動を通して、読書への関心を高められるよう、学級における児童の読書生活を整えていきたい。また、本をほとんど読まない児童については、前単元までに学習した作者の他の作品に目を向けさせたり、短編の作品を紹介したりするなど、読むことへの関心が少しずつ高まるように、個別に指導していく。

さらに、キャリア教育の視点を取り入れ、キャリア教育を通して育成したい基礎的・汎用的能力の1つ「人間関係形成能力・社会形成能力」を高めるための活動として、グループによる話し合い活動を取り入れていく。例えば、ポスターの内容を修正したり、よりよい表現方法を工夫する場面において、自分の考えを伝えたり、友達からのアドバイスを聞いたりする中で、お互いに伝え合い、学び合うよさに気付かせていきたい。

5 単元の目標

- いろいろな本に出会い、自分の読書の世界を広げようとする。 (関心・意欲・態度)
- ◎本や文章を目的に応じた読み方で読むことができる。 (読むこと)
- 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。 (伝国)
- ◆グループトーク等の話し合い活動を通して、自分の考えを相手に伝えたり、相手の意見を聞いたりして、自らの考えを深めることができる。 (人間関係形成・社会形成能力)

6 評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・目的による読み物や読み方の違いに興味を持ち、自分の読み方について振り返って考えようとしている。	・目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読んでいる。	・文種による言葉や表現の違い、内容や感想を表す言葉の働きについて気付いている。

7 指導計画 (全6時間)

次	時	学習活動	評 価				
			関	読	言	評価規準	評価方法
1	1	・日常生活の中で、どのような読み物を読んでいるか出し合う。 ・それぞれの読み物をどんな目的で読んでいるのか考え、話し合う。	○			・身の回りの読み物と、それを読む目的や読み方について考えようとしている。	児童観察
	2	・物語と説明的な文章を比較して、文章の種類によって読み方にどのような違いがあるかを考える。		◎		・文章の種類による文章の構造をとらえ、目的による読み方の違いに気付いている。 ・文種による言葉や表現の違いに気付いている。	児童観察 発言
2	1	・ポスターの構成を考え、聞き手がその本を読みたいと思うような紹介になるよう、本のよさや特徴をまとめ、ポスターを作る。	○			・「本を紹介する」という目的で、読んだ本を読み返している。	児童観察
	2	・友達の作品を読み合い、修正する。(本時)			◎	・紹介したい作品のよさや特徴について考えをまとめ、効果的な挿絵や言葉の引用を用いて、ポスターを作っている。	発言 ポスター
	3	・自分のポスターを紹介し合い、感想を交流する。		○		・友達のポスターを読み、要約や引用などのよさや課題について伝えることができる。	付箋紙 ポスター
	4	・感想を交流し、読書への意欲をもっている。	◎			・感想を交流し、読書への意欲をもっている。	発言

8 本時の展開

(1) 本時の目標

友達のポスターを読み、よさと課題を伝え合い、本の紹介の仕方を考えることができる。

(2) 評価規準

- 友達のポスターを読み、要約や引用などのよさや課題点について伝えることができる。(読むこと)
- ◆話し合い活動を通して、友だちの作品のよさや改善点を伝えたり、友だちのアドバイスを受けたりして、学び合いのよさに気付くことができる。(人間関係形成・社会形成能力)

(3) 準備物

付箋紙、ポスター

(4) 学習の展開

学習活動・内容	指導上の留意点 キャリア教育の視点	具体の評価規準 (評価方法)
1 本時の学習課題を確認する。		
友達のポスターについて、よいところと直すところを伝え、よりよい内容にしよう。		
2 グループでお互いのポスターを読み合い、友達を読みたくなるように、お互いに視点を持ってアドバイスをし合う。 【アドバイスの視点】 ・キャッチコピーの付け方 ・あらすじの紹介の仕方 ・登場人物の紹介の仕方 ・気に入った言葉の引用 ・挿絵 等	○自分のポスターをお互いに渡し、グループの全員が読み合うようにさせる。 ○アドバイスの視点を明確に持たせ、二色の付箋紙を用いて、友達のポスターに貼り付けさせ、よさと改善点について伝えることを確認させる。 ・「読みたくなったよカード」…アドバイスの視点に基づいて、それぞれのよさを伝えるカード（青の付箋紙） ・「もっとよくなるよカード」…アドバイスの視点に基づいて、さらに工夫したり、改善したりすればよいことを伝えるカード（赤の付箋紙）	(読) 友達のポスターを読み、要約や引用などのよさや課題点について伝えることができる。(発言)
3 友達からのアドバイス（もっとよくなるよカード）を基に、自分のポスターを修正する。	○必要に応じて、児童の作品を取り上げ、児童による相互評価について、指導者評価を行う。 ○友達からのアドバイスをもとに、どのように直したらよいかを考えさせ、改善を図ることができるよう、必要に応じて個別指導する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 友達のポスターがよりよくなるために、グループで協力して考えを伝え合ったり、相手の意見を聞いて自らを振り返ったりすることのよさに気付かせる。 </div>	話し合い活動を通して、友だちの作品のよさや改善点を伝えたり、友だちのアドバイスを受けたりして、学び合いのよさに気付くことができる。 (発言・ノート)
4 本時の振り返りをする。	○本時の課題解決に向けて、次の2点について振り返らせる。 ・本時の学習課題について ・友達との学び合いについて	【人間関係形成・社会形成能力】